

---

# 運命の螺旋

鉤十字

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

運命の螺旋

### 【コード】

N9105G

### 【作者名】

鉤十字

### 【あらすじ】

この物語は複数の作品とクロスした小説です。つたないと思いますがよろしくお願いいたします。

## プロローグ1（前書き）

がんばって原作と異なっています。不愉快なら読まないことをお勧めします。

## プロローグ1

ネフュリア戦争、月と地球がかつて起こした戦争である

意地と意地のぶつかり合い、物量で押す地球連邦と技術力で押す月もはや戦争の大義さえも失われ、不毛な戦いに明け暮れていた。そんな中で急成長を遂げている会社があった。

兵器会社

「テイノス」。この企業は地球連邦の武器、弾薬、機体開発を一手に引き受けており莫大な利益を上げていた。しかし、地球連邦の首脳部は気がつかなかった。彼らの力が地球連邦よりもはるかに超えていたことに。

そして、彼らは、内戦、テロ、汚職に満ちた世界に別れを告げるために彼らが地球連邦に引き渡すはずだった次世代機

「ネクスト」を使い、地球連邦に宣戦を布告した。

「テイノス」に頼り切っていた地球連邦に対抗する力はなかった。

「ネクスト」は地球連邦が保有していたすべての兵器を打ち破り、地球連邦に属していた国家をすべて自分たちの支配下に置いた。国家を抛り所にしていった地球連邦は自然消滅した。

後にこの戦争は国家解体戦争と呼ばれるようになった。

地球連邦が変わって代表になった

「テイノス」は月との停戦交渉を開始した。

地球、月双方の市民は戦争の中から開放されることに喜びかみ締めていた。

そして、物語は、日本のとある町に移る。

## プロローグ1（後書き）

ラバーズが他の主人公に行くことはないはないので安心してくだ  
さい。

南太平洋某所（前書き）

かなり下手ですが応援よろしくお願い致します。

## 南太平洋某所

場所は移動して太平洋上にある離島。

どがーんという音がして何かの破片が転がる。それはノーマルの機体。

隊1

「くそ、なにがどうなっているんだ」

隊2

「冗談じゃねえぞ。」

隊3

「このままじゃ全滅する。」

彼らは水銀旅団と呼ばれる組織である

この島には一個大隊と三個中隊が駐在していたのだがすべて撃破され、残っているのはこの三機だけである。なにしろ相手が悪い。相手はあの

「ネクスト」なのだから。

ネクストを倒すには100機以上のノーマルを突っ込ませれば何とか倒せるのだが、この

「ネクスト」はその中でも最強部隊ジャスティス所属の太平洋の黒い風と金色の閃光なのだから。ある機体はグレネードで、ある機体はビームサーベルで破壊された。

残った機体一機は通信で必死に助けを呼んでいた。

隊1

「こちらトム曹長。現在、敵襲を受け、残っているのは自分だけだ。至急援軍を。援軍を！！」とここで青白い光に切り裂かれ爆砕した。そこから数キロ離れたところに二機は着陸した。一方は機体の色がほとんど白、所々に赤や青を使っている。もう一方はほとんど黒で、所々にピンクを使っている。

共通しているのはその機体の肩に剣を3つ重ね合わせその真ん中に

MMMという文字が書かれている。

? 1

「これでほぼ片付いたな。けど、確実に腕は上がっているなあ」

? 2

「そうだね。何度も包囲されそうになったし。」

オペレータ

「稟さん、和樹さんお疲れの所申し訳ありませんが、すぐに別の任務があるので。」

和

「まだあるの!?!」

稟

「仕方ないだろう。水銀旅団はMMMと敵対しているからここで潰さないと。」

和

「仕方ないか。」

オペ

「すいません、これの他にも後二つあります。」

和

「学校が。出席率が。千早たちに殺される。」

稟

「楓が俺が帰ってこないからって警察とかに電話しないかが不安だ」と言いつつ、

次の場所に移動した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9105g/>

---

運命の螺旋

2011年1月27日14時27分発行